

東北3県の現在(いま)と、私たちが創る未来～東日本大震災から12年を経て～

消費・安全局食品安全政策課

開催日：令和5年3月6日(月)～3月10日(金)＜5日間＞開催

来場者：1,013人

概要：震災発生から12年を経て、東北3県(岩手県・宮城県・福島県)の復興の現状及び活力にあふれる農林水産業の取組や魅力ある名産品などについて紹介しました。具体的には、①パネル・サンプル展示(東北3県の今の現状と復興を遂げた取組を紹介したパネル、名産品のサンプルの展示)、②動画放映(復興に向けた取組や生産した食材を提供する飲食店を取材。)、③展示に連動した販売(被災地で生産された特産物の販売)を行いました。



福島県立磐城農業高等学校の生徒達による、復興に向けた取組をパネルで紹介。愛情を込めて栽培したキク科のサイネリアの花を展示。



展示の様子



復興に向けた取組や、ALPS処理水の海洋放出と日本の食品の安全性に関する動画を大型及び中型モニターで放映。



岩手県産の米粉使用カステラ、宮城県産のさば缶詰、福島県産の乳飲料等の様々な特産物を農林生協が当省北別館入口で販売。



東北3県(上から岩手県・宮城県・福島県)の魅力ある名産品を展示。